

## ◎エアロード取付・取扱い注意事項

### ◎取扱い注意事項

- ① 取付部またはネジにゆるみのない事を必ず確認し、必要に応じて締増しを行って下さい。
- ② 走行中に異音を感じた時は直ちに車を止め、不良箇所の発見と適切な処置をして下さい。
- ③ FRP板面の表面に塗装をする場合は、ペーパー(#320~#600)でサンディングをして粉をよくふき取り、塗料メーカーの指定する工程で塗装をして下さい。
- ④ 金具類(フロントバー・リアバー・押さえ鉄板・バー・ステー・ブラケット)は、は、2種類のメッキ加工をほどこしてありますが、条件によりサビが発生します。サビ防止には、取付前に塗装をすることがベストです。また、長期間使用して、サビのひどい金具類は取り替えて下さい。
- ⑤ 板面・ステーに貼ってあるステッカー・シール類は必ず見えるようにして下さい。ステッカー・シール類への塗装は避けて下さい。
- ⑥ 製品取扱作業時、容姿が悪く、また重量もあるので、手、ひざ、腰等痛めないように注意して下さい。ステーは鉄製ですので、取扱には十分注意して下さい。
- ⑦ 返品時、本体・ステーに塗装及び文字入れをされた品物は、ご遠慮頂いています。

### ◎取付上の注意事項

- ① エアロードは、地上高3.8mを超えないで取り付けして下さい。
- ② エアロードの指定地上高の短縮や延長等の改造はしないで下さい。
- ③ 雨ドイタイプの場合、取付部の強度が充分あることを確認して装着し、腐食していたり、サビの甚だしい場合は、取り付けしないで下さい。
- ④ ステー取付部ボルトの場合、ボルトのネジ山及び、ルーフ受けナットのネジ山を確認した後、防水、また傷をつけないよう、ルーフとの間に付属のゴムパッキン(ステーベース用ゴム)を入れて、締め付けをして下さい。
- ⑤ ステーボルト締付後、水漏れ防止の為に、ボルト回り、ステーベース穴より広めにシリコン系シーラーを塗布して下さい。
- ⑥ フロント、リアバーとステー差込パイプとの隙間には錆汁対策として、シリコン系シーラの塗布をお勧めします。
- ⑥ 本製品純正部品以外の部品や、特別に改造した部品を使用しないで下さい。
- ⑦ 取り付けステーの付属品として、SUSボルトM8×25 8ヶ・SUSワッシャーM8×22×1.5t 8ヶ・SUSスプリングワッシャーM8 8ヶ・黒丸ゴム8×20×1, 5t 8ヶ・ベースゴム 1, 5t 4ヶが付いています。

発売元 ピカコーポレイション  
製造元 不二化成株式会社

## エアロード取り付け方

- 1.板面上側のインサート金具のボルト差込み穴の①にあるボルトのナット、スプリングワッシャーを外して下さい。
- 2.支えパイプ上側のボルト差込穴と、板面上側のインサート金具のボルト差込穴の①にボルトを差込みスプリングワッシャー、ナットで仮固定をしてください。
- 3.ルーフ、板面固定金具(ステー)を、板面のフロントバー、リアバーに差し込んで下さい。
- 4.トラックルーフに前項(導風板)をセットして下さい。
- 5.ルーフとステーを付属のボルト(ボルトタイプ)もしくは、付属のブラケット(雨ドイタイプ)で固定して下さい。(別紙参照)ルーフのボルトの締め付けの際は、1ヶずつ締め付けるのではなく、8ヶ均等に、締め付けてください。
- 6.板面のボルト類は予め締め付けてありませんので、すべてのボルトを緩みのないように、締め付けて下さい。

発売元 ピカコーポレイション  
製造元 不二化成品株式会社

備考

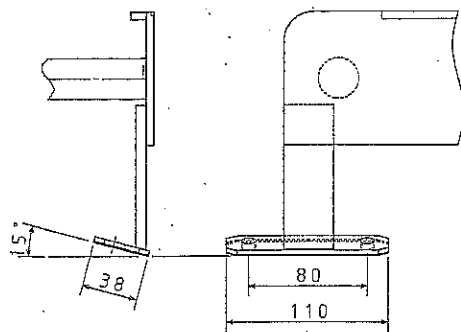
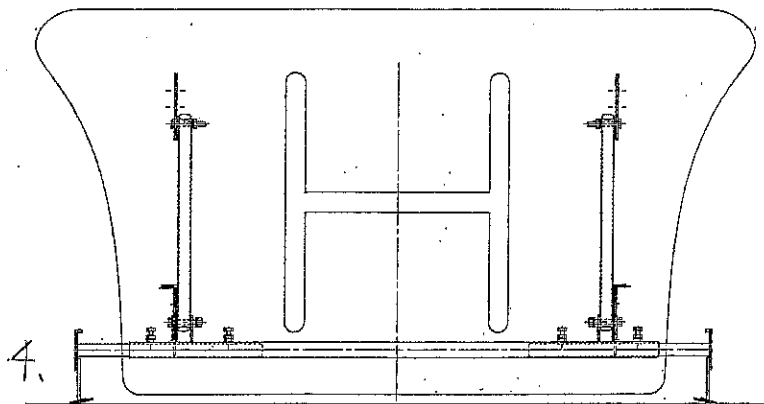
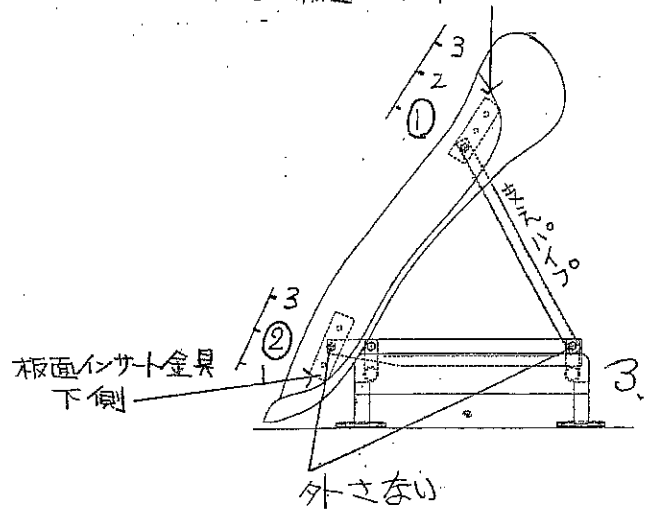
・製品質量 27.5kg

・寸法記入部以外については、概略図です。

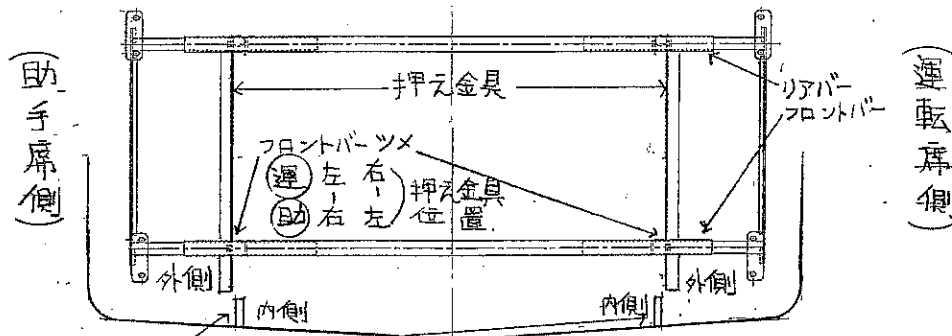
注意

・全高3.8m以上にしないこと。

1・2 板面インサート金具上側、外す。



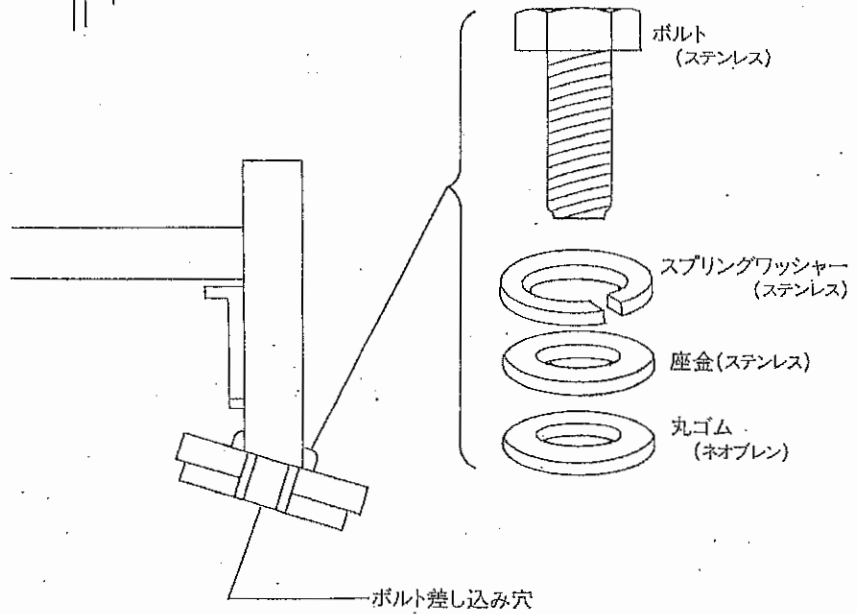
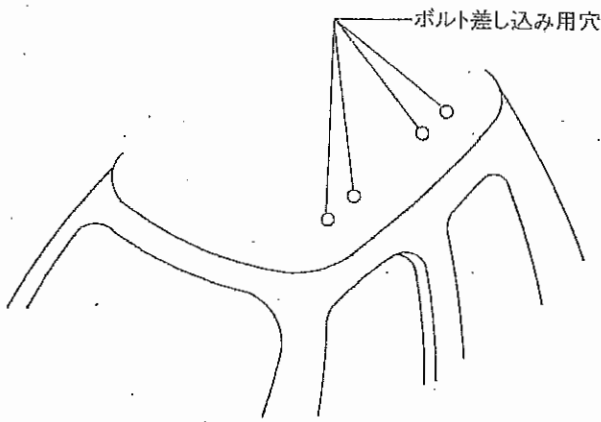
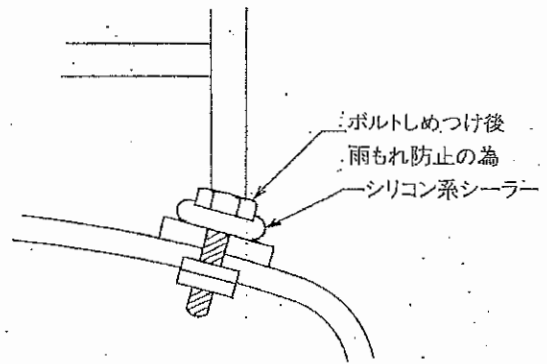
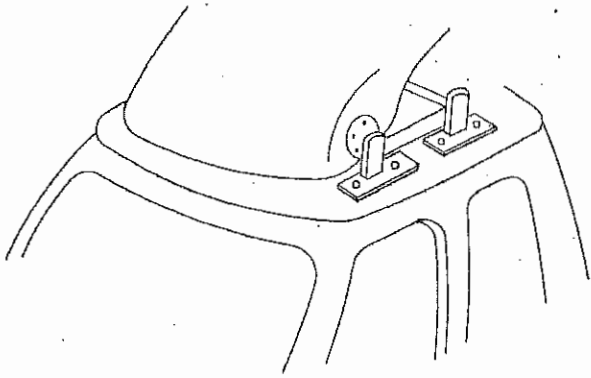
取付部詳細図 (S=1/3)



板面インサート金具下側

SCALE 尺 1/10	DATE 日 2009 月 12.21	APPROVED 氏名 丸谷	CUSTOMER NAME
PiCa Corp.		ASSESSED 氏名 原野	品名 TRUCK導風板 : エアロード
		DESIGNED 氏名 新	DRAWING NO. C2009-187-00

⑬ ルーフとステアー、ボルトの取付〔雨トイ⑬〕



⑪ ルーフとステー、ブラケットの取付〔雨トイ④〕

(例) 小型用

